




# パソコンを利用する

## パソコンを使ってできること

カメラをパソコンに接続して、次のことができます。

<p>パソコンに画像を保存して見る</p> 	<ul style="list-style-type: none"><li>• 手動でパソコンに保存して見る (USB接続) (110、123ページ)。</li><li>• 自動的にパソコンに保存して見る (Photo Loader with HOT ALBUM*) (115ページ)。 撮影日別に整理をしたり、カレンダー形式で一覧表示したりできます。</li></ul>
<p>パソコンに保存した画像をカメラに戻す</p> 	<p>画像以外にも、パソコンに表示されている画面をカメラに転送できます (Photo Transport*) (119ページ)。</p>
<p>動画を再生・編集する</p> 	<ul style="list-style-type: none"><li>• 動画を再生することができます (QuickTime 7 (117、126ページ))。</li><li>• 動画を編集する場合は、必要に応じて、市販のソフトをご利用ください。</li></ul>

※Windows専用です。

カメラとパソコン、付属のソフトを使ってできることや操作のしかたは、Windowsパソコンの場合とMacintoshの場合で異なります。

- Windowsパソコンの場合→「Windowsパソコンを利用する」(108ページ)
- Macintoshの場合→「Macintoshを利用する」(123ページ)

## Windowsパソコンを利用する

OSのバージョンおよび使用目的に応じて、必要なソフトをインストールしてください。

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
パソコンに手動で画像を保存して見る	Vista/XP/2000/Me	インストールする必要はありません。	110
	98SE/98	<b>USB driver Type B</b> USBドライバはカシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト ( <a href="http://dc.casio.jp/">http://dc.casio.jp/</a> ) からダウンロードしてください。	110
パソコンに自動的に画像を保存/画像の管理	Vista/XP/2000	<b>Photo Loader with HOT ALBUM 3.1 DirectX 9.0c</b> (パソコンにDirectX 9.0以上がないとき)	115
動画の再生	Vista/XP(SP2)/2000(SP4)	<b>QuickTime 7</b>	117
動画の編集	Vista/XP/2000/Me/98SE/98	－ • 必要に応じて、市販のソフトをご利用ください。	－
YouTubeサイトへの動画のアップロード	Vista/XP(SP2)/2000(SP4)	<b>YouTube Uploader for CASIO</b>	117

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
カメラへの画像の転送	Vista/XP/ 2000/Me/ 98SE/98	Photo Transport 1.0	120

## ■ 同梱ソフト使用時の動作環境について

使用するソフトによって、パソコンに必要な動作環境が異なります。各ソフトをインストールするときに“お読みください”を読んでご確認ください。「同梱ソフト使用時の動作環境について(152ページ)」にもまとめて記載しています。

## ■ 英語版のソフトを利用するときは

- CD-ROMから英語のソフトをインストールしてください。ただし、日本語版と英語版を2重インストールしないでください。
- 英語版のソフトをインストールするときは、CD-ROMをパソコンにセットして、MENU画面が表示されたら、“Language”の“English”をクリックします。

## ■ 同梱ソフトをWindows Vistaで使用する場合のご注意

- Photo Transportは、64bitのWindows Vistaには対応していません。
- DirectX、QuickTime以外の同梱ソフトは、管理者(Administrator)権限以外は使用できません。
- 自作パソコンやデュアル環境でのサポートは行っていません。
- お客様のパソコン環境によっては、対応できない場合があります。
- 以前購入されたカメラに同梱のPhoto Loaderで保存している画像データは、Photo Loader with HOT ALBUMに移行することで引き続きお使いいただけます。

## 画像をパソコンに保存する／パソコンで見る

カメラをパソコンに接続して、画像(静止画や動画などのファイル)をパソコンに保存したり、パソコンで見ることができます。

### Windows 98SE/98の場合は、USBドライバをインストールする必要があります(108ページ)

USBドライバは、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト(<http://dc.casio.jp/>)からダウンロードしてください。

### Windows 98SE/98の場合は、USBドライバをインストールする前にカメラとパソコンを接続しない!

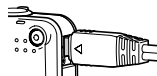
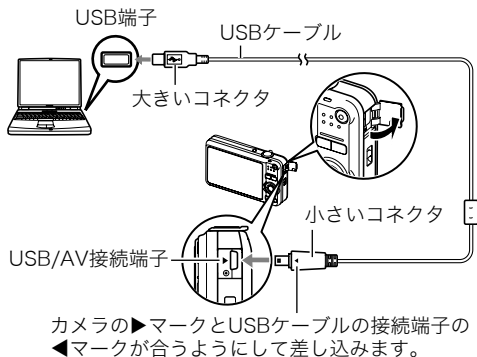
パソコンがカメラを認識しなくなります。Windows 98SE/98をお使いの場合、必ず最初にUSBドライバをインストールしてください。インストールが終わるまで、カメラとパソコンを接続しないでください。

## ■ カメラとパソコンを接続してファイルを保存する

1. カメラの電源を入れ、【MENU】を押す
2. “設定”タブ→“USB”と選び、【▶】を押す
3. 【▲】【▼】で“Mass Storage”を選び、【SET】を押す

#### 4. カメラの電源を切り、付属のUSBケーブルでカメラとパソコンのUSB端子を接続する

- USBケーブルからは電源は供給されません。電池残量が十分な電池をカメラに入れてから接続してください。
- USBケーブル接続時は、ケーブルのコネクタをカチッとクリック感があるまでカメラへ押し込んでください。完全に挿入しないと、通信不良や製品の故障の原因となります。
- 完全に挿入しても、イラストのようにコネクタの金属部が見えます。
- USBケーブル接続時は、それぞれの機器のUSB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせてください。

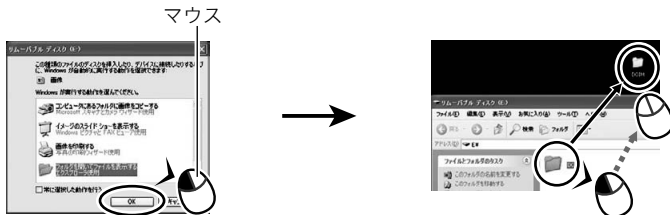


#### 5. カメラの電源を入れる

## 6. 画像をパソコンにコピーする

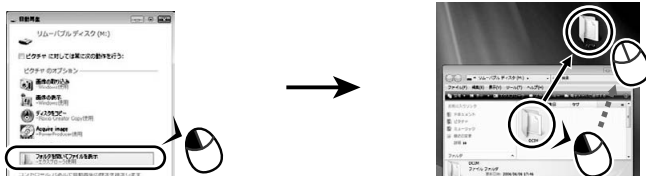
### Windows XP

- ① “フォルダを開いてファイルを表示するエクスプローラ使用”を選んで“OK”をクリックする
- ② “DCIM”フォルダをドラッグアンドドロップしてWindowsのデスクトップにコピーする



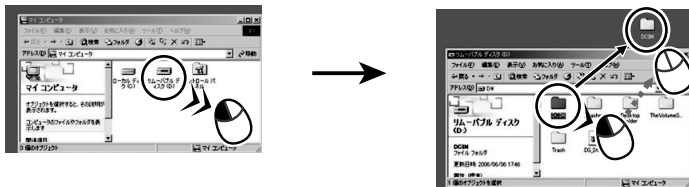
### Windows Vista

- ① “フォルダを開いてファイルを表示—エクスプローラ使用”を選ぶ
- ② “DCIM”フォルダをドラッグアンドドロップしてWindowsのデスクトップにコピーする



## Windows 2000/Me/98SE/98

- ① “マイコンピュータ”をダブルクリックする
- ② “リムーバブルディスク”をダブルクリックする
- ③ “DCIM”フォルダをドラッグアンドドロップしてWindowsのデスクトップにコピーする



## 7. コピーが終了したらカメラをパソコンからはずす

### Windows Vista/Windows XP/98SE/98

カメラの【ON/OFF】を押して電源を切り、後面ランプが消灯したのを確認してからカメラをパソコンからはずす。

### Windows 2000/Me

パソコン画面のタスクトレイのカードサービスを左クリックし、カメラに割り当てられているドライブ番号の停止を選択する。その後、後面ランプが消灯したのを確認してから、カメラの【ON/OFF】を押して電源を切りカメラを取りはずす。

## ■ パソコンに保存した画像を見る

1. コピーした“DCIM”フォルダをダブルクリックして、フォルダを開く



2. 見たい画像が入ったフォルダをダブルクリックして開く



3. 見たい画像ファイルをダブルクリックして画像を表示させる

- ファイル名については「メモリー内のフォルダ構造」(129ページ)を参照ください。
- カメラ内で回転表示させた画像をパソコンで見た場合は、回転させる前の画像が表示されます。





## 重要

- 内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンに保存した画像で行ってください。
- 画像を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

## パソコンに自動的に画像を保存する／画像を管理する

パソコンに自動的に画像を保存したり管理するには、付属のCD-ROMに収録されているPhoto Loader with HOT ALBUMをパソコンにインストールします。



## ■ Photo Loader with HOT ALBUMをインストールする

### 1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

メニュー画面が表示されます。パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、AutoMenu.exeをダブルクリックしてください。



- 
2. “Photo Loader with HOT ALBUM 3.1”をクリックして選び、“お読みください”をクリックして読む  
インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。

- 
3. Photo Loader with HOT ALBUMの“インストール”をクリックする

- 
4. 画面の指示にしたがって操作する

Photo Loader with HOT ALBUMがインストールされます。

## DirectXの確認

Photo Loader with HOT ALBUMで取り込んだ画像を管理するには、パソコンにDirectX 9.0以上がインストールされている必要があります。以下の手順でDirectXのバージョンを確認してください。

1. “スタート”→“すべてのプログラム”→“アクセサリ”→“システムツール”の順でたどり、“システム情報”を開く
- 
2. メニューバーから“ツール”→“DirectX 診断ツール”の順で開く  
“システム”タブをクリックし、“DirectX バージョン”が9.0以上であることを確認してください。
- 
3. “終了”をクリックして「DirectX 診断ツール」を終了する
    - DirectX 9.0以上がインストールされていない場合は、付属のCD-ROMに収録されている「DirectX 9.0c」をインストールしてください。

## 動画を再生する

動画はQuickTime 7以降をインストールすると再生することができます。パソコンに動画をコピーしてから、画像ファイルをダブルクリックして再生してください。



### ■ QuickTime 7のインストール

1. CD-ROMのメニュー画面(115ページ)で“QuickTime 7”を選ぶ
2. “お読みください”をクリックしてインストールの条件や動作環境を読んだ後、インストールする

### ■ 動画再生時の推奨動作環境

OS : Windows Vista/XP(SP2)/2000(SP4)  
CPU : Pentium M、1GHz 以上Pentium 4、2GHz 以上  
必要なソフトウェア: QuickTime 7、DirectX 9.0c以上

- 上記の動作環境は推奨の環境であり、動作を保証するものではありません。
- 設定状態やインストールされているソフトウェアによっては、正しく動作しない場合があります。

## YouTubeに動画をアップロードする

ベストショットモードの“YouTube”のシーンで撮影した動画ファイルを簡単にYouTubeのWebサイトへアップロードするには、付属のCD-ROMに収録されているYouTube Uploader for CASIOをパソコンにインストールします。

## ■ YouTubeとは

YouTube, LLC社が運営する動画サイトです。YouTubeでは、動画の閲覧や動画をアップロードすることができます。

## ■ YouTube Uploader for CASIOをインストールする

1. CD-ROMのメニュー画面(115ページ)で“YouTube Uploader for CASIO”を選ぶ
- 
2. “お読みください”をクリックしてインストールの条件や動作環境を読んだ後、インストールする

## ■ 動画ファイルをYouTubeにアップロードする

- YouTube Uploader for CASIOを使用する前にYouTubeのWebサイト (<http://jp.youtube.com/>) でユーザー会員登録をしてください。
- 著作権(著作隣接権を含みます)により保護されているビデオは、ご自身が権利を有しているか、関係する権利者から許可を得ている場合を除いてアップロードしないでください。
- アップロードできるファイルのサイズは、1つのファイルにつき最大100MBです。

1. ベストショットモードの“YouTube”のシーンで動画を撮影する

- 
2. あらかじめパソコンをネットワークに接続しておく

- 
3. カメラをパソコンに接続する(110ページ)

---

#### 4. カメラの電源を入れる

YouTube Uploader for CASIOが自動的に起動します。

- 初めて起動したときは、YouTubeのユーザーID、パスワード、お使いのネットワークの環境を設定し、[OK]ボタンをクリックしてください。

---

#### 5. 画面左側に動画ファイルをアップロードするのに必要なタイトル、カテゴリー等が表示されるので、動画ファイルをアップロードする際に必要な情報を入力する

---

#### 6. 画面右側に動画ファイルのリストが表示されるので、アップロードしたい動画ファイルのチェックボックスにチェックを入れる

---

#### 7. すべての準備が整ったら、[アップロード]ボタンをクリックする

動画ファイルがWebサイトに転送されます。

- ファイル転送が終わったら、[終了]ボタンをクリックし、アプリケーションを終了してください。

### パソコンに保存した画像をカメラに戻す

パソコンに取り込んだ画像をもう一度カメラへ戻すには、付属のCD-ROMに収録されているPhoto Transportをパソコンにインストールします。

#### ■ Photo Transportをインストールする

---

##### 1. CD-ROMのメニュー画面(115ページ)で“Photo Transport”を選ぶ

---

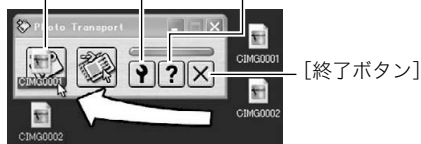
##### 2. “お読みください”をクリックしてインストールの条件や動作環境を読んだ後、インストールする

## ■ 画像をカメラに転送する

1. “スタート” → “すべてのプログラム” → “Casio” → “Photo Transport” の順でクリックする

Photo Transportが起動します。

2. 転送したい画像ファイルを [転送ボタン] [設定ボタン] [ヘルプボタン]  
[転送ボタン]にドラッグア  
ンドドロップする



3. 画面の指示にしたがって操作する

画像ファイルがカメラに転送されます。

- 画面の指示や転送される画像の詳細はPhoto Transportの設定によって異なります。詳しくは[設定ボタン]や[ヘルプボタン]を押して設定内容を確認してください。

### 転送するデータについて

- 転送できる画像は下記の拡張子の画像データです。  
.jpg、.jpeg、.jpe、.bmp(.bmpはJPEG画像に変換されて転送されます)
- 画像によっては一部転送できない場合があります。
- 動画は転送できません。

## ■ パソコンの画面をカメラに転送する

1. カメラをパソコンに接続する(110ページ)

---

## 2. “スタート”→“すべてのプログラム”→“Casio”→“Photo Transport”の順でクリックする

Photo Transportが起動します。

---

## 3. 転送したい画面を表示する

---


## 4. [キャプチャーボタン]をクリックする

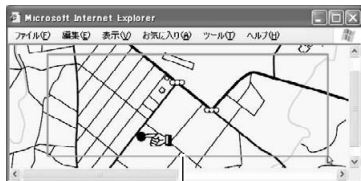


[キャプチャーボタン]

---

## 5. 転送したい範囲を囲む

転送したい部分の左上に“” (矢印)を移動してマウスの左ボタンを押したままにし、そのままマウスを右下へずらします。



転送される範囲

---

## 6. 画面の指示にしたがって操作する

囲んだ範囲の画像がカメラに転送されます。

- キャプチャーした画像はJPEG画像に変換されて転送されます。
- 画面の指示や転送される画像の詳細はPhoto Transportの設定によって異なります。詳しくは[設定ボタン]や[ヘルプボタン]を押して設定内容を確認してください。

## ■ 設定／ヘルプについて

設定内容の変更は[設定ボタン]をクリックして変更します。設定内容、操作方法やトラブルシューティングについては、Photo Transportの[ヘルプボタン]をクリックしてヘルプをご覧ください。

## ユーザー登録をする

パソコンからインターネットを通してのみ、「カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト」へのユーザー登録をすることができます。

- 下記のアドレスからユーザー登録ができます。

<http://www.casio.jp/reg/dc/>

登録いただいた個人情報のお取り扱いに関しては、Webサイト上の「ご利用になる前に」に記載されていますので、ご確認ください。ユーザー登録はデジタルカメラ本体や付属ソフトのバージョンアップのご連絡その他情報発信を目的としています。付属ソフトウェアについては、ユーザー登録をしなくてもインストールや使用は可能です。

下記の方法でも登録できます。

1. CD-ROMのメニュー画面(115ページ)で“オンラインユーザー登録”を選んだ後、画面の指示に従って操作する
2. ユーザー登録が終了したら、インターネットの接続を終了する



## Macintoshを利用する

Mac OSのバージョンおよび使用目的に応じて、必要なソフトをインストールしてください。

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
パソコンに手動で画像を保存して見る	Mac OS 9	インストールする必要はありません。	123
	Mac OS X		
パソコンに自動的に画像を保存／画像の管理	Mac OS 9	市販のソフトをご利用ください。	126
	Mac OS X	OSにバンドルされているiPhotoが利用できます。	
動画の再生	Mac OS 9	再生できません。	126
	Mac OS X	OS X v10.3.9以降で、QuickTime 7以降がインストールされていれば再生できます。	126

### 画像をパソコンに保存する／パソコンで見る

#### 重要

- Mac OS 8.6以前、またはMac OS Xの10.0ではご使用できません。Mac OS 9、X(10.1、10.2、10.3、10.4)のみで使用できます(OS標準のUSBドライバを使用)。

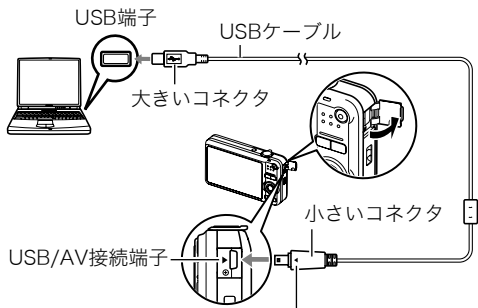
#### ■ カメラとパソコンを接続してファイルを保存する

1. カメラの電源を入れ、【MENU】を押す
2. “設定”タブ→“USB”と選び、【▶】を押す

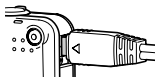
### 3. 【▲】【▼】で“Mass Storage”を選び、【SET】を押す

#### 4. カメラの電源を切り、付属のUSBケーブルでカメラとパソコンのUSB端子を接続する

- USBケーブルからは電源は供給されません。電池残量が十分な電池をカメラに入れてから接続してください。
- USBケーブル接続時は、ケーブルのコネクタをカチッとクリック感があるまでカメラへ押し込んでください。完全に挿入しないと通信不良や製品の故障の原因となります。
- 完全に挿入しても、イラストのようにコネクタの金属部が見えます。
- USBケーブル接続時は、それぞれの機器のUSB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせてください。



カメラの▶マークとUSBケーブルの接続端子の◀マークが合うようにして差し込みます。



#### 5. カメラの電源を入れる

カメラの後面ランプが緑色に点灯します。パソコンは、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーを「ドライブ」として認識します。Mac OSのバージョンにより、表示されるアイコンが異なる場合があります。



---

**6.** 表示されたドライブをダブルクリックする

---

**7.** “DCIM”フォルダをデスクトップにドラッグアンドドロップして、画像をパソコンにコピーする

---

**8.** コピーが終了したらドライブを“取り出し”または“ゴミ箱”へドラッグアンドドロップする

---

**9.** カメラの【ON/OFF】を押して電源を切り、緑の後面ランプが消灯したのを確認してから、カメラをパソコンからはずす

## ■ パソコンに保存した画像を見る

---

**1.** 表示されたドライブをダブルクリックする

---

**2.** “DCIM”フォルダをダブルクリックして、フォルダを開く

---

**3.** 見たい画像が入ったフォルダをダブルクリックして開く

---

**4.** 見たい画像ファイルをダブルクリックして画像を表示させる

- ファイル名については「メモリー内のフォルダ構造」(129ページ)を参照ください。
- カメラ内で回転表示させた画像をパソコンで見た場合は、回転させる前の画像が表示されます。

## 重要

- 内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンに保存した画像で行ってください。
- 画像を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

## パソコンに自動的に画像を保存する／画像を管理する

Mac OS Xをお使いの場合は、OSにバンドルされているiPhotoを使って画像ファイルの管理ができます (Mac OS 9をお使いの場合は、市販のソフトをご利用ください)。

## 動画を再生する

動画はMacintoshにすでにインストールされているQuickTimeで再生することができます。Macintoshに動画をコピーしてから、画像ファイルをダブルクリックして再生してください。



## ■ 動画再生時の動作環境

カメラで撮影した動画をパソコンで再生する場合、以下の動作環境を推奨します。  
OS : Mac OS X v10.3.9以降

QuickTimeバージョン : QuickTime 7以降

- 上記の動作環境は推奨の環境であり、動作を保証するものではありません。
- 上記動作環境のパソコンでも、設定状態やインストールされているソフトウェアによっては、正しく動作しない場合があります。
- OS 9では動画ファイルは再生できません。

## ユーザー登録をする

---

パソコンからインターネットを通してのみ、ユーザー登録をすることができます。「カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト」で登録を行ってください。

ユーザー登録アドレス <http://www.casio.jp/reg/dc/>

ユーザー登録で登録いただいた個人情報のお取り扱いに関しては、Webサイト上の「ご利用になる前に」に記載されていますので、ご確認ください。ユーザー登録はデジタルカメラ本体やその他情報発信を目的としています。

## ファイルとフォルダについて

本機では、撮影した静止画などのひとつひとつが、個別のデータとして記録されます。個別のデータのことを「ファイル」と呼びます。各ファイルは、「フォルダ」と呼ばれるまとまりにグループ分けされます。ファイル、フォルダには、区別のための名前が自動的に付きます。

- フォルダ構造の詳細は、「メモリー内のフォルダ構造」(129ページ)をご覧ください。

	名前と最大作成数	例
ファイル	“CIMG0001”から“CIMG9999”までで、最大9999個のファイルが1つのフォルダに作成されます。拡張子は記録したファイルの形式によって異なります。	26番目に記録した ファイル名: <b>CIMG0026.JPG</b>                      連番(4桁)      拡張子
フォルダ	“100CASIO”から“999CASIO”までです。最大900のフォルダが作成されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• ベストショットモードにはオークションサイトへの出品を撮影する“オークション”のシーンを収録しています。このシーンで撮影した場合、フォルダ名は「100_AUCT」となります。</li><li>• ベストショットモードにはYouTubeサイトへアップロードするのに最適な動画を撮影する“YouTube”のシーンを収録しています。このシーンで撮影した場合、フォルダ名は「100YOUTB」となります。</li></ul>	連番100のフォルダ名: <b>100CASIO</b>   連番(3桁)

- フォルダ名、ファイル名は、パソコンで見ることができます。カメラの液晶モニターでの表示については、158ページをご覧ください。
- 保存できるフォルダ数、ファイル数は、サイズや画質、メモリーカードの容量によって異なります。

## メモリー内のデータについて

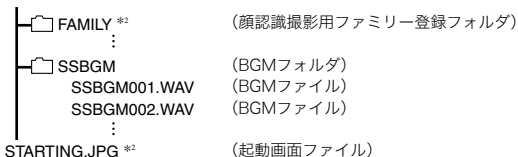
本機で撮影された画像は、DCF (Design rule for Camera File system) 規格に準拠した方法でメモリーへ保存されます。

### ■ DCF規格について

本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のカメラで見たり、この規格対応の他社のプリンターで印刷したりすることができます。また、DCF規格対応の他社のカメラの画像も本機で見ることができます。

### ■ メモリー内のフォルダ構造





- \*1 ベストショットモードにはオークションサイトへの出品品を撮影する“オークション”のシーンを収録しています。このシーンで撮影した場合、記録フォルダ名は「100\_AUCT」となります。また、ベストショットモードにはYouTubeサイトへアップロードするのに最適な動画を撮影する“YouTube”のシーンを収録しています。このシーンで撮影した場合、記録フォルダ名は「100YOUTB」となります。
- \*2 内蔵メモリー内にのみ作成されるフォルダです。

## ■ このカメラで扱える画像ファイル

- 本機で撮影した画像ファイル
- DCF規格に対応している画像ファイル

DCF規格の画像ファイルでも、使用できない機能がある場合があります。また、本機以外で撮影された画像の場合、再生にかかる時間が長くなる場合があります。

## ■ パソコン上で内蔵メモリー／メモリーカードを扱うときのご注意

- メモリーの内容をパソコンに保存する際は“DCIM”フォルダごと保存してください。その際“DCIM”フォルダの名前を年月日などに変えておくと、あとで整理するときに便利です。ただし、パソコンに保存したファイルをカメラに戻す場合は、フォルダ名をパソコン上で“DCIM”に戻しておいてください。本機では“DCIM”以外の名前のフォルダは認識されません。“DCIM”フォルダ内の他のフォルダ名を変えた場合も同様です。
- フォルダやファイルをカメラで正しく認識させるためには、メモリー内のフォルダ構造が129ページのフォルダ構造の通りである必要があります。
- メモリーカードはPCカードアダプターやメモリーカードリーダー／ライターで直接パソコンに読み込むことができます。



## その他の設定について

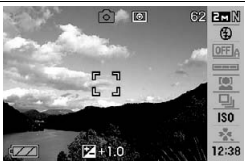

ここでは撮影モードと再生モードのどちらでも操作や設定ができるメニュー項目について説明します。

メニューの操作については、60ページをご覧ください。

### 撮影モードの画面のレイアウトを選ぶ(☑操作パネル)

**操作手順:** 【MENU】→設定タブ→☑操作パネル



撮影モードでの画面に表示されるアイコン等のレイアウトが選べます。

入	画面の右側にアイコンが表示されます。撮影モード中に【SET】を押せば、各種項目の設定が素早くできます。	
切	画像をできるだけ画面いっぱいに表示しますので、“16:9”の画像(27ページ)を大きく表示して撮影したいときなどに便利です。アイコンは画面に重なって表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 本書では、操作パネルが“入”の状態の説明しています。</li></ul>	

## 再生モードの画面のレイアウトを選ぶ(表示)

操作手順: **[MENU]**→**設定タブ**→**表示**

再生モードでの再生画像の表示範囲が選べます。

ワイド	画像を画面の幅いっぱいを使って、できるだけ大きく表示します。画像の縦横の比率によって、画像の上下が切れて表示されます。	 A screenshot of a video player in wide mode. The video frame is stretched horizontally to fill the width of the screen. The top right corner shows the time '10:1-04:14' and 'E2N'. The bottom right corner shows the date '08/12/24' and time '18:02'. There are small icons in the bottom left and top right corners.
4:3	画像が常に100%表示されます。画像の縦横の比率によって、画像の上下、または左右に黒い帯が表示されます。	 A screenshot of a video player in 4:3 mode. The video frame is smaller than the screen, leaving black bars on the top and bottom. The top right corner shows the time '10:1-04:14' and 'E2N'. The bottom right corner shows the date '08/12/24' and time '18:02'. There are small icons in the bottom left and top right corners.

## カメラの音を設定する(操作音)

操作手順: **[MENU]**→**設定タブ**→**操作音**

起動音	
ハーフシャッター	音色を設定します。
シャッター	サウンド1~5:内蔵されたサンプル音が鳴ります。
操作音	切:音は鳴りません。

操作音 (M)	操作音の音量を設定します。ビデオ出力時(82ページ)の音量にも反映されません。
再生音 (M)	動画や音声付き静止画の音量を設定します。ビデオ出力時(82ページ)の音量に反映されません。

- 音量を“0”に設定すると、音は鳴りません。

## メニュー画面の表示色を変える(メニュー色)

**操作手順:**【MENU】→設定タブ→メニュー色

メニュー画面の表示色を5色の中から選ぶことができます。

設定できる内容:EXILIMレッド/ローズ/スカイ/オリーブ/アプリコット

## 撮影した静止画を起動画面に表示させる(起動画面)

**操作手順:**【MENU】→設定タブ→起動画面

起動画面にしたい静止画を表示させて「入」を選びます。

- 【▶】(再生)を押して電源を入れた場合は、起動画面は表示されません。
- 起動画面には、静止画の他にカメラに内蔵されている起動画面用の専用画像が設定できます。
- 音声付き静止画の音声は再生されません。
- 登録した起動画面は、内蔵メモリーをフォーマット(140ページ)すると消去されます。

## 画像の連番のカウント方法を切り替える(ファイルNo.)

操作手順: **[MENU]**→**設定タブ**→**ファイルNo.**

撮影時に画像に付く連番(128ページ)のカウント方法を切り替えます。

メモリする	今まで撮影したファイルの連番を記憶します。ファイルを消去したり、何も記録されていないメモリーカードに交換しても、記憶した連番からファイル名を付けます。メモリーカードにファイルが残っている場合、残っているファイルのファイル名がカメラの記憶した連番より大きい場合は、残っているファイルの最大の連番+1からファイル名が付きます。
メモリしない	ファイルをすべて消去したり、何も記録されていないメモリーカードに交換すると、ファイルの連番を継続せずに、0001番からファイル名を付けます。メモリーカードにファイルが残っている場合は、残っているファイルの最大の連番+1からファイル名を付けます。

## 海外旅行先での時刻を設定する(ワールドタイム)

操作手順: **[MENU]**→**設定タブ**→**ワールドタイム**

購入時に設定した自宅の日時とは別に、海外旅行などで訪問する都市の日時を1都市選んで表示することができます。世界162都市(32タイムゾーン)に対応しています。

### 1. **[▲]****[▼]**で“訪問先”を選び、**[▶]**を押す

- 通常の時刻表示の地域・都市を変更するときは“自宅”を選びます。

### 2. **[▲]****[▼]**で“都市”を選び、**[▶]**を押す

- “訪問先”の設定でサマータイムを設定するときは、**[▲]****[▼]**で“サマータイム”を選び、“入”に設定します(サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うため、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです)。

---

3. 【▲】【▼】【◀】【▶】で地域を選び、【SET】を押す

---

4. 【▲】【▼】で都市を選び、【SET】を押す

---

5. 【SET】を押す

## 日付や時刻を写し込む(タイムスタンプ)

### 操作手順: 【MENU】→設定タブ→タイムスタンプ

撮影時に画像の右下に、日付や時刻を写し込むことができます。

例) 2009年12月24日 午後1時25分

日付	2009/12/24
日付+時刻	2009/12/24 1:25pm
切	日付/時刻は写し込まれません。

- いったん画像に写し込まれた日付や時刻を変更したり、消すことはできません。
- タイムスタンプ機能を使用しなくてもDPOF機能や印刷用ソフトで、日付や時刻を入れてプリントすることができます(105ページ)。

- タイムスタンプを設定して撮影すると、デジタルズームは働きません。
- 下記の撮影では、タイムスタンプは無効となります。
  - ベストショット撮影の一部(“ホワイトボードなどを写します”)

## カメラの日時を設定し直す(日時設定)

### 操作手順: [MENU]→設定タブ→日時設定

日時を変更した後は[SET]を押して修正結果を確定させます。

<b>[▲][▼]</b>	カーソル(選択枠)の部分の数字を変えます。
<b>[◀][▶]</b>	カーソル(選択枠)を移動します。
<b>[BS]</b>	12時間表示と24時間表示の切り替えができます。

- 入力できる日付は、1980年～2049年です。
- 日時を設定する前にワールドタイムの自宅の設定(134ページ)を自分の住んでいる地域にしないと、ワールドタイムの日時が正しく表示されません。

## 日付の表示の並びを変える(表示スタイル)

### 操作手順: [MENU]→設定タブ→表示スタイル

画面に表示される日付の表示スタイルを3つの中から選ぶことができます。

例)2009年12月19日

<b>年/月/日</b>	09/12/19
<b>日/月/年</b>	19/12/09
<b>月/日/年</b>	12/19/09

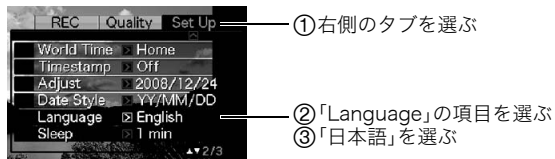
- 操作パネル上の日付の表示(25ページ)も、下記のように切り替えることができます。  
“年/月/日”、“月/日/年”を選んだ場合:月/日の順  
“日/月/年”を選んだ場合:日/月の順

## 表示言語を切り替える(Language)

操作手順: 【MENU】→設定タブ→Language

画面のメッセージの言語を設定します。

### ■ 画面が外国語表示になってしまったとき



## 電池の消費を抑える(スリープ)

操作手順: 【MENU】→設定タブ→スリープ

一定時間操作しないと液晶モニターの表示を消します。何かボタンを押すと、表示が戻ります。

設定できる値: 30秒、1分、2分、切(切を選ぶと、スリープ機能が作動しません)

以下の状態のときは、スリープ機能は動きません。

- 再生モード
- カメラをパソコンなどの機器に接続しているとき
- スライドショー中
- オートシャッターの撮影待機中
- ボイスレコード録音・再生中
- 動画撮影・再生中
- スリープ機能とオートパワーオフ機能の設定が同じ時間の場合、オートパワーオフ機能が優先されます。

## 電池の消費を抑える(オートパワーオフ)

操作手順: **[MENU]**→**設定タブ**→**オートパワーオフ**

電池消費を抑えるため、一定時間操作しないと電源が切れます。

設定できる値: 1分、2分、5分(再生モードでは5分に固定されます)

以下の状態のときは、オートパワーオフ機能は働きません。

- カメラをパソコンなどの機器に接続しているとき
- スライドショー中
- ボイスレコード録音・再生中
- 動画撮影・再生中

## **[📷]**、**[▶]**の動作を設定する(REC/PLAY)

操作手順: **[MENU]**→**設定タブ**→**REC/PLAY**

パワーオン	<b>[📷]</b> (撮影)や <b>[▶]</b> (再生)を押すと、電源が入ります。
パワーオン/オフ	<b>[📷]</b> (撮影)や <b>[▶]</b> (再生)を押して、電源を入れたり切ったりできます。
切	<b>[📷]</b> (撮影)や <b>[▶]</b> (再生)を押しても、電源は入りません。

- “パワーオン/オフ”に設定しているときは、撮影モードで**[📷]**(撮影)を押した場合と再生モードで**[▶]**(再生)を押した場合に電源が切れます。
- テレビに画像を映し出す場合は、“切”以外に設定する必要があります。



## USBの通信方法を切り替える(USB)

### 操作手順: 【MENU】→設定タブ→USB

パソコンやプリンターなどの外部機器と接続するときの、USB通信の方法を切り替えることができます。

<b>Mass Storage</b>	パソコンを接続する場合に選びます。パソコンにカメラを外部記憶装置として認識させる方法です。通常、パソコンへの画像の保存の操作時(付属のソフト「Photo Loader with HOT ALBUM」使用时)はこちらを選んでください。
<b>PTP (PictBridge)</b>	PictBridge対応(101ページ)のプリンターを接続する場合に選びます。画像データを外部接続機器に簡単に転送するための接続方法です。

## 画面の横縦比とビデオ出力の方式を変更する(ビデオ出力)

### 操作手順: 【MENU】→設定タブ→ビデオ出力

本機では、ビデオ信号をNTSCまたはPAL、テレビ画面のアスペクト比(横縦比)を4:3または16:9のいずれかで出力できます。

<b>NTSC</b>	日本のほか、アメリカなどでも使用されています。	<b>4:3</b>	通常の画面比率のテレビ用
<b>PAL</b>	ヨーロッパなどで使用されています。	<b>16:9</b>	ワイド画面のテレビ用

- お使いのテレビ画面のアスペクト比(4:3または16:9)に合わせて設定してください。このとき、テレビ側のアスペクト比の設定も正しく設定されていないと、画面が正常に表示されない場合があります。
- 本機のビデオ方式とテレビのビデオ方式が合わないと正しく表示されません。
- NTSC、PAL以外の方式のテレビでは、画像は正しく表示されません。

## メモリーをフォーマットする(フォーマット)

### 操作手順: [MENU]→設定タブ→フォーマット

カメラにメモリーカードが入っている場合はメモリーカードを、メモリーカードが入っていない場合は内蔵メモリーをフォーマットできます。

- フォーマットすると、メモリーの内容がすべて消去され、元に戻すことはできません。本  
当にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてから行ってください。
- 内蔵メモリーをフォーマットした場合、次の画像も同時に消去されます。
  - 顔認識でファミリー登録した内容
  - プロテクトされた画像
  - ベストショットモードでカスタム登録した内容
  - 起動画面に設定した画像
- メモリーカードをフォーマットした場合、次の画像も同時に消去されます。
  - プロテクトされた画像
- フォーマットするときは、十分に充電された電池を使用してください。フォーマット中  
に電源が切れると、正しくフォーマットされず、カメラが正常に動作しなくなる恐れが  
あります。
- フォーマット中は、絶対に電池カバーを開けないでください。カメラが正常に動作しな  
くなる恐れがあります。

## 各種設定を購入直後の設定に戻す(リセット)

### 操作手順: [MENU]→設定タブ→リセット


購入直後の設定(初期値)については、159ページを参照ください。

下記の項目は、リセットしても初期値に戻りません。

ワールドタイムの詳細設定、日時設定、表示スタイル、Language、ビデオ出力

# 液晶モニターの表示内容を切り替える

【▲】(DISP)を押すごとに、画面に表示される情報表示の有無が選べます。撮影モード、再生モードでそれぞれ設定できます。

情報表示あり	設定内容などの情報が表示されます。
ヒストグラム付	設定内容などの情報に加え、ヒストグラム(142ページ)が画面の左側に表示されます。 
切	設定内容などの情報を表示しません。

ヒストグラム

## 露出を確認する(ヒストグラム)

液晶モニター上にヒストグラムを表示させることで、露出をチェックしながら撮影することができます。再生モードでは撮影された画像のヒストグラムを見ることができます。

- “左右キー設定”で“EVシフト”の切り替えを【◀】【▶】に割り当てると(69ページ)、ヒストグラムを確認しながら【◀】【▶】で露出を補正して撮影することができます。



ヒストグラム

### 参考

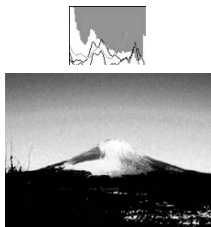
- 撮影したい画像を意図的に露出オーバーやアンダーにする場合もあるので、必ずしも中央に寄ったヒストグラムが適正となる訳ではありません。
- 露出補正には限界がありますので、調整しきれない場合があります。
- フラッシュ撮影など、撮影したときの状況によっては、ヒストグラムでチェックした露出とは異なる露出で撮影される場合があります。

## ■ ヒストグラムの見かた

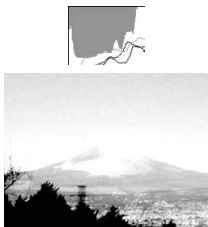
ヒストグラム(輝度成分分布表)とは、画像の明るさのレベルをピクセル数によりグラフ化したものです。縦軸がピクセル数、横軸が明るさを表します。ヒストグラムが片寄っていた場合は、露出補正(EVシフト)すると、ヒストグラムを左右に移動させることができます。グラフが中央に寄るように補正をすることによって、適正露出に近づけることができます。さらに静止画ではR(赤)、G(緑)、B(青)の色成分が独立したヒストグラムも同時に表示されるので、色ごとのオーバー・アンダー状況が把握することができます。

### 典型的なヒストグラムの例

全体的に暗い画像は左寄りのヒストグラムになります。また、あまり左に寄り過ぎていると、黒つぶれを起こしている可能性もあります。



全体的に明るい画像は右寄りのヒストグラムになります。右に寄り過ぎていると、白飛びを起こしている可能性もあります。



全体的に適切な明るさの画像は中央寄りのヒストグラムになります。

